

新潟県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

選抜概要

- 新潟県の公立高校入試は特色化選抜と一般選抜があります。

	出願期間	志望変更期間	入試日	合格発表日
特色化選抜	WEB入力 12/1(月)～2/3(火) 書類提出 1/30(金)～2/3(火)	—	2/9(月)	2/12(木)
一般選抜	WEB入力 12/1(月)～2/18(水) 書類提出 2/16(月)～18(水)	2/24(火)～26(木)	3/4(水) (独自検査3/5)	3/12(木)
2次募集 (欠員補充)	WEB入力 3/12(木)～17(火) 書類提出 3/16(月)・17(火)	—	3/18(水)	3/19(木)

- 出願は、1校1学科に限ります。
- 入学予定者数が募集定員に満たなかった場合は、欠員補充のための2次募集を実施します。
- 新潟県立・新潟市立高校の通学区域は県内一円です。

特色化選抜

- 特色化選抜とは、スポーツ活動、文化活動及び科学分野の活動等に秀でた実績があり、各学校の特色ある教育の推進に中心的な役割を果たすことが期待される者が対象となります。

中学校長の推薦が必要です。

●選抜資料

面接の結果	全員に個人面接を実施
調査書・推薦書	推薦書には、対象となる「分野・種目」と「主な実績」などを記載。大会・コンクールを記載する際は、上位大会の成績から順に記入する。また、大会等の記録を証明する資料を添付すること(複数提出可)。
その他の検査の結果	各学校が面接の他に必要と認める検査を実施することがある。 ※実技、PRシート等 [2026年度入試の例] 実技 … 新潟中央[音楽] PRシート … 新潟西[普通], 八海[普通]

- 上記の資料を用い、合格者を選抜します。

合格内定を受けたものは保護者の転勤等やむを得ない理由がある場合を除き、ほかの高等学校に出願できません。

合格通知を受けなかったものは、特色化選抜で志願した学科・学校を含めて、一般選抜に出願することができます。

一般選抜

●募集人員は特色化選抜の合格内定者を除いた人数となります。

●選抜方法

「総合得点表」を主な資料とし、これに「各教科の学習の記録」以外の調査書の記載事項を併せ、総合的に判断し入学者を決定します。

＜総合得点表算出方法＞

・学校独自検査を実施しない学校、学科

調査書の「各教科の学習の記録」（各学年の9科×5段階評価=135点満点）を「学習の記録の合計」とします。

これを1000点満点に換算し、小数第2位を四捨五入して、その値を **b** とします。

$$【 b = (学習の記録の合計) \div 135 \times 1000]$$

次に、「学力検査の合計」を1000点満点に換算し、小数第2位を四捨五入して、その値を **c** とします。

$$【 c = (学力検査の合計) \div (学力検査の満点) \times 1000]$$

そして、次の式に当てはめて総合得点 **a1** を出します。

$$【 a1 = \alpha \times b + \beta \times c] \quad ※\text{小数第1位を四捨五入}$$

α と **β** は各学校・学科が定めた調査書と学力検査の比重で次のいずれかとなります。

(0.7, 0.3) (0.6, 0.4) (0.5, 0.5) (0.4, 0.6) (0.3, 0.7)

・学校独自検査を実施する学校、学科

上記の総合得点 **a1** に、学校独自検査の得点 **d**（満点は100点～500点のいずれか）を加え総合得点 **a2** を算出します。

$$【 a2 = a1 + d]$$

※「総合得点表」に用いられる具体的な内容※

学力検査	国語・社会・数学・理科・英語（各50分・各100点） 学校・学科によっては指定する教科の配点を2倍とする傾斜配点を実施
学校独自検査	次の①～⑥のいずれか、また複数実施 ①面接 ②PRシート ③実技 ④課題作文 ⑤筆答検査 ⑥その他の検査 学校独自検査は、実施校が独自に作成した問題等により実施
調査書	各教科の学習の記録（評定） 1～3年（中学3年間）の9科（5段階評価）が対象

・傾斜配点を行う学校・学科や、学校独自検査を行う場合の検査内容の詳細は事前に調べておきましょう。

・インフルエンザ等の感染症や負傷などのやむを得ない事情により、一般選抜を欠席した場合、追検査を受けることが出来ます。